

種名	カルガモ <u>Anas poecilorhyncha</u>													
														
分類	ガンカモ目 ガンカモ科													
特徴	オスとメスが同じ色で、くちばしの先に黄色い模様がある淡水ガモ類。アジアの温帯から熱帯で繁殖し、日本でも全国で数多く繁殖する。冬期、湖沼の結氷する地方のものは暖地に移動する。狩猟鳥。													
生活	国内各地で普通に繁殖する唯一のカモ類で、全国の平野部に広く分布している。繁殖期には水田、川、池沼などで生活し、水辺を歩く、泳ぎながら水面でついばむ。水中に首を突っ込むなどして、草の実や葉、水草、さらには水棲昆虫や貝のようなさまざまな動物質の餌も食べる。水辺近くの草むらや休耕した畑、竹やぶなどの乾いた地上に巣を作るが、水辺を離れた所に作ることも多い。													
声	雌雄同色なのでオスとメスの鳴き声の区別はできないが、どちらも「グェグェツ」という濁った声で鳴く。水面から飛び立ったときには必ずと云ってよいほど「グェグェツ」と鳴き交わし、飛翔中にも同じような声で鳴くことがある。													
見分け方	地味な羽色だが、くちばしと顔の模様の特徴で他のカモ類のメスから見分けられる。													
時期：寒地	(月)	-	-	-	4	5	6	7	8	9	10	-	-	
：暖地	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
その他	産卵期は4～7月 全長(L) 41cm 34cm 翼開長(W)51～64cm													
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥														